

洗面化粧台取付説明書

LDB600D・600DN・600C・600CN・600CQ・600FN・600FQ
LDB750C・750CN・750CQ・750FN・750FQ

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

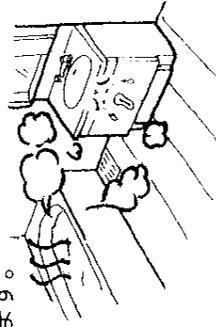
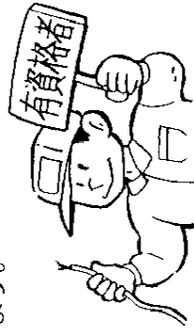
表示	意味
	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定されています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定されています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

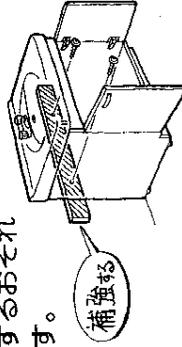
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
--	----------------------------

- 本体に同梱されている「ご愛用のしおり」は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客さまにお渡しください。

警告	
電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行う	浴室など湿気の多い場所へ設置しない
火災や感電及び漏水の原因になります。	漏電により感電するおそれがあります。



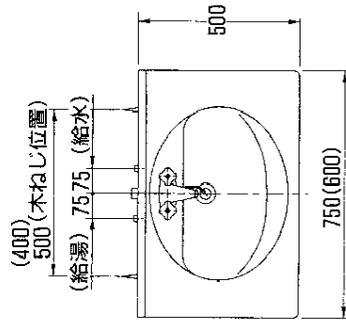
警告	
壁固定ねじ取付位置に棧を入れて補強する	キャビネットが転倒しケガをすおそれがあります。



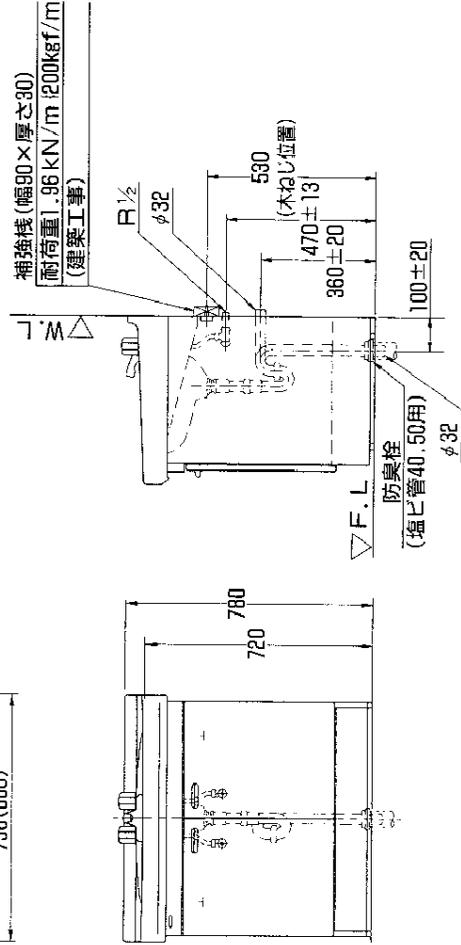
注意	
湯・水を逆に配管しない	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
水側でいきなり湯が出て、火傷をすおそれがあります。	凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。
工事完了後、給排水管から漏水がないかを必ず確認する	工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
漏水を起こすと、家財等に損害を与えるおそれがあります。	使用中にキャビネット・扉が落下してケガをす原因になります。

☆工事寸法

※Pトラップは付属していませんので必要な場合はLTH521Rをご購入ください。
 ※シングルレバー混合栓の壁給水タイプは、止水栓付を品揃えしていませんので、必要な場合は、LTH524CD1(一般地用)、LTH524CDU(寒冷地用)をご購入ください。



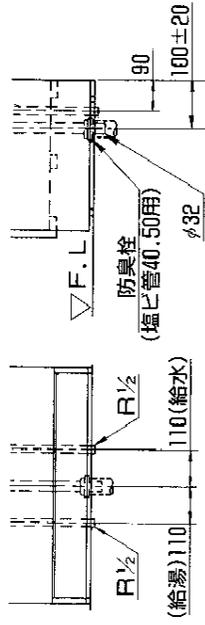
※図はLDB750Cタイプです。
 他の機種は、外觀形状が異なります。
 ※() 寸法は600サイズです。



床給水の場合

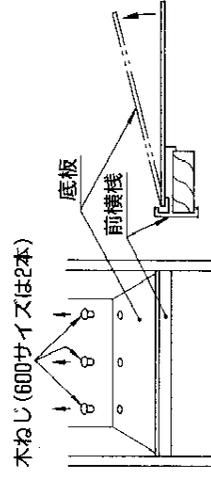
※給水・給湯穴(φ52)排水穴(φ90)の穴をあけてください。

給水・給湯位置



底板の取外し

※取付けは、取外しの逆の順序で行ってください。



☆付属部品明細

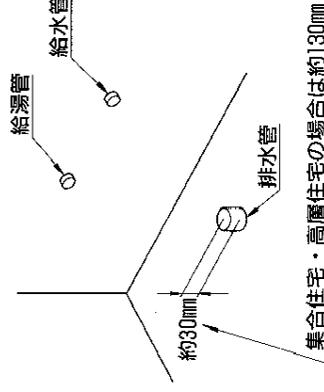
名 称	数量
1 水 栓	1セット
LDB600DN・CN・FN	無
LDB750CN・FN	
2 止 水 栓	1セット
LDB600D	2セット
LDB600C・CQ・FQ	
LDB750C・CQ・FQ	
3 排水トラップ	1セット
LDB600D・DN	1個
そ の 他	2個
4 給水ふた	1個
5 排水ふた	1個
6 防臭栓	1個
7 ふた用木ねじ (φ3×12)	LDB600D・DN 5本
	そ の 他 7本
8 壁固定用木ねじ(φ4.5×50)	2本
9 ご愛用のしおり	1冊

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。

☆取付前の準備

- 化粧台の壁固定部分には、壁面に補強棧を入れてください。
 - 給水・給湯管を所定の位置に取出してください。
 - 器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
 - 排水管を所定の位置に仕上げ面より約80mm立上げてください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)
- ※集合住宅、高層住宅でアダプタ使用の場合排水管は仕上げ面より約130mm立上げてください。
(底板着脱タイプの場合は、30mmでも可能です。)



☆使用条件

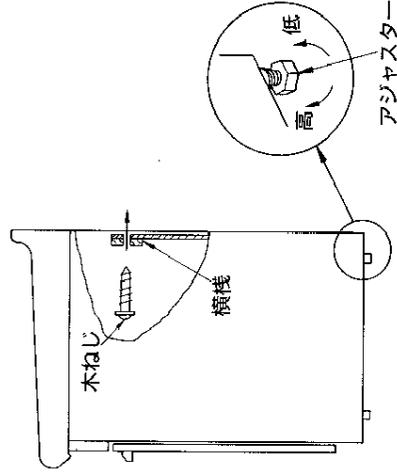
- シングルレバー混合栓の使用条件は、混合栓に同梱されている取付説明書をご覧ください。

☆ 取付手順

(番号順に取付けてください。)

①化粧台の取付け

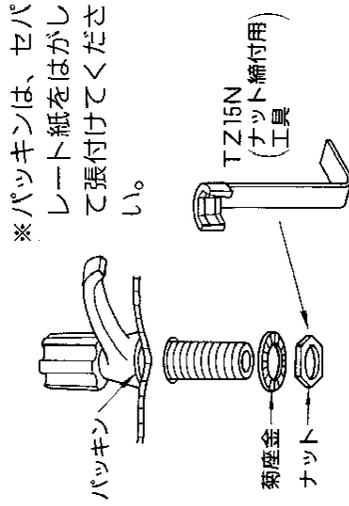
- 床が水平でない場合には、扉に段付きが出来るおそれがありますのでアジャスターで水平になるように調節してください。
- 付属の木ねじ(日本)で壁に固定してください。
- ※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合せて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打込んでおいてください。



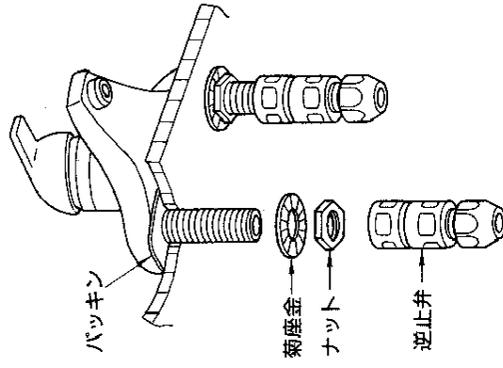
②水栓金具の取付け

- 別売のナット締付工具TZ15Nを使用して十分に締付けてください。
- ※水栓本体と陶器のすき間が見えなくなるようナットを十分に締付けてください。
- ※片締めしますと、洗面器が割れるおそれがありますので左右交互に均等に締めてください。

立水栓の取付け



混合栓の取付け

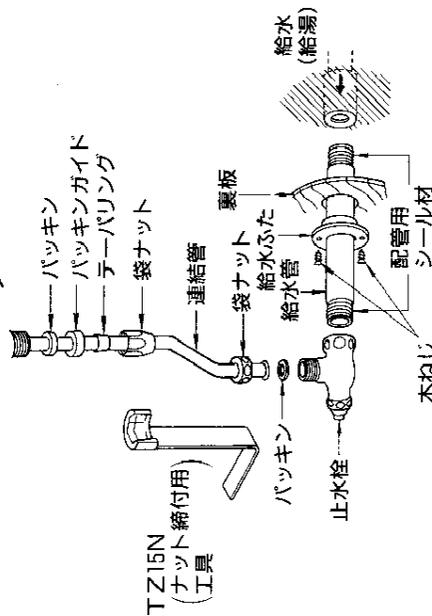


※2バルブ混合栓及び寒冷地タイプは、逆止弁なしです。

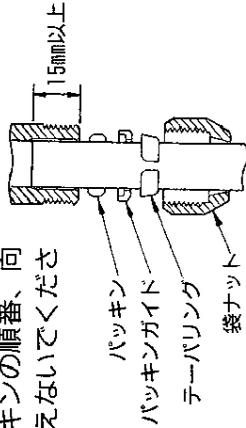
③止水栓の取付け

- ナットは工具で十分に締付けてください。
- 連結管が長い場合は、差込代を15mm以上確保し、カットしてください。

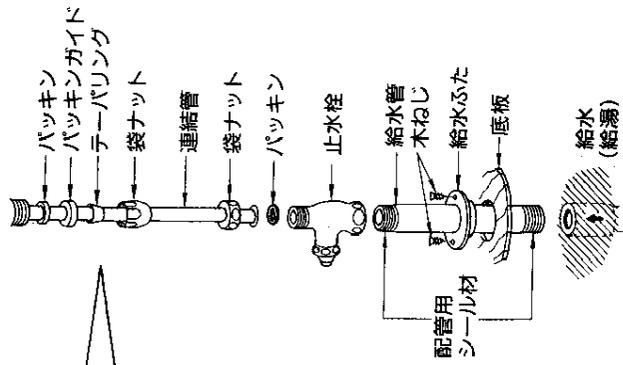
壁給水の場合



※テーパーリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。

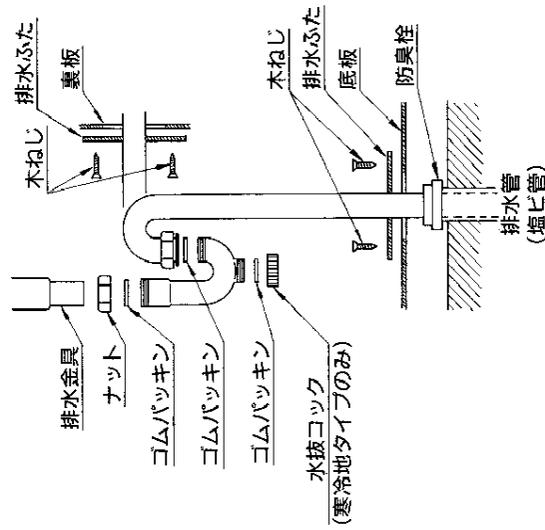


床給水の場合



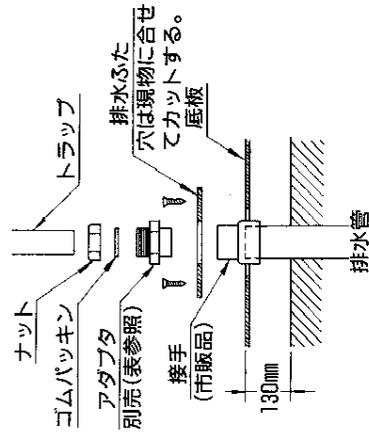
④排水トラップの取付け

- ナットは工具で十分に締付けてください。
- Sトラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップをはめてトラップを差込んでください。
- Pトラップの場合は、LTH521Rに同梱の塞ふたで底板の穴をふさいでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ(下表)で確実に接合してください。



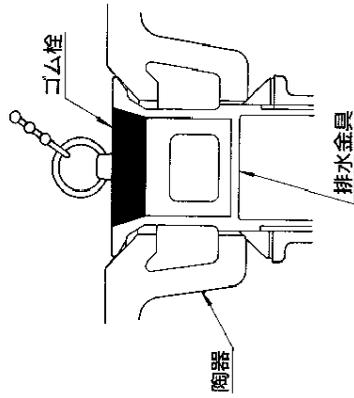
集合住宅、高層住宅の場合

アダプタの種類	サイズ
T1122 (ガス管用)	R1¼
T1122J (塩ビ管用)	30用
T1122T (塩ビ管用)	40用



⑤ ゴム栓の取付け

- 水栓に同梱又は洗面器に接続されているゴム栓を排水口の図の位置に取付けてください。

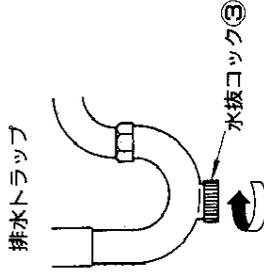
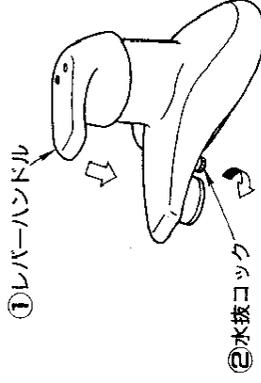


☆ 寒冷地タイプの水抜方法

寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

〈水抜手順〉(シングルレバー混合栓の場合)

- ①レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で下げてください。
 - ②混合栓の水抜コックを開いてください。
 - ③排水トラップの水抜コックを開いてください。
- ※水抜き後は必ず水抜コックを強く締めてください。



☆ 取付完了後の清掃

- 製品を清掃する場合は、中性洗剤をしみこませた布、またはスポンジでふき取ってください。シンナー・ベンジンなどの使用は表面を変色・変質させるので、絶対に使用しないでください。